

Sun Management Center 4.0 Version 7 アドオン ソフトウェア

SPARC Enterprise、Sun Fire、Sun Blade、Sun
Ultra、Netra、Sun Netra、SPARC T3 システム、
Netra SPARC T3-1 サーバー、Netra SPARC T4-1
サーバー版リリースノート



Part No.: E24230-02
2012 年 1 月

Copyright © 2009, 2012, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS. Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。Intel、Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は X/Open Company, Ltd. からライセンスされている登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

目次

| | |
|--|---|
| Sun Management Center 4.0 Version 7 アドオンソフトウェアリリースノート | 1 |
| このリリースの新機能 | 1 |
| 関連ドキュメント | 2 |
| サポートされるソフトウェア環境 | 2 |
| サポートされるシステム | 3 |
| 推奨パッチ | 5 |
| アドオンソフトウェアの入手 | 5 |
| インストール | 6 |
| ▼ 以前のバージョンのアドオンソフトウェアをアンインストールする | 7 |
| ▼ Sun Management Center 4.0 ソフトウェアをインストールする | 7 |
| ▼ Sun Management Center 4.0 Version 7 アドオンソフトウェアをインストールする | 8 |
| 問題と回避方法 | 8 |
| Netra SPARC T3-1 サーバーについて、「Physical Components Fan (物理コンポーネント/ファン)」の表に何も表示されない (CR 7019466) | 9 |
| エラーメッセージ: Unable to Launch the Application due to Unavailable Sunconnection.sun.com URL (Sunconnection.sun.com URL にアクセスできないためアプリケーションを起動できません) (CR 7029129) | 9 |
| Netra SPARC T3-1 および Netra SPARC T4-1 サーバーの「インジケータ」の表で HDD のホットプラグイベントの正しい状態が報告されない (CR 7020337) | 9 |

電源のファンに障害が発生した後に、Netra SPARC T3-1 および Netra SPARC T4-1 サーバーの電圧/電流センサーの運用ステータスが正しく報告されない (CR 7020508) 10

Netra SPARC T3-1 および Netra SPARC T4-1 サーバーで電源が取り外されたときに、追加情報フィールドに誤った致命的なしきい値が報告される (CR 7029653) 10

「詳細」ウィンドウの「アラーム」タブがエージェントと同期しない (CR 6548517) 10

コンソールに表示される説明情報が正しくない (CR 6585734) 11

XAUI カードが該当するすべての表に表示されない (CR 6604020、6971521) 11

特定のシステムではコンソールに SAN (MPXIO) ディスクが表示されない (CR 6655853) 11

「プロセッサ」の表が Web コンソールに表示されない (CR 6662409) 11

「システム」および「メディアデバイス」の表に表示される HDD の数が正しくない (CR 6665401) 12

論理ドメインが設定されていると、Sun Management Center ですべてのディスクが「構成していない」と表示される (CR 6666611) 12

論理ドメインシステムでは Sun Management Center が Spare/No-intr プロセッサを誤って更新する (CR 6730867) 12

ILOM では、PS 入力電圧を送信する前に正しく変換する必要がある (CR 6735038) 13

環境センサーの障害がしきい値で正しく報告されない (CR 6738914) 13

第一ドメインを構成すると、「プロセッサ」の表が変化する (CR 6751418) 13

NIC をホットプラグで挿入すると、「ネットワークインタフェース」の表が正しく更新されない (CR 6756972) 14

すべての T3 シリーズサーバーおよび Netra SPARC T4-1 サーバーで「メディアデバイス」の表の情報が完全ではない (CR 6963594) 14

ILOM で送信される FRU のシリアル番号が切り詰められる (CR 6967351) 14

DIMM に対して正しくないシリアル番号が返される (CR 6981291) 15

Sun Management Center 4.0 Version 7 アドオンソフトウェアリ リースノート

この文書は、Oracle の SPARC Enterprise、Sun Fire、Sun Blade、Sun Ultra、Netra、Sun Netra、SPARC T3 システム、および Netra SPARC T4-1 サーバーのための Oracle Sun Management Center 4.0 Version 7 アドオンソフトウェア (*ELP Config-Reader* または *Common Config-Reader* と呼ばれます) のリリースノートです。

この文書には次の節があります。

- [1 ページの「このリリースの新機能」](#)
- [2 ページの「関連ドキュメント」](#)
- [2 ページの「サポートされるソフトウェア環境」](#)
- [3 ページの「サポートされるシステム」](#)
- [5 ページの「推奨パッチ」](#)
- [5 ページの「アドオンソフトウェアの入手」](#)
- [6 ページの「インストール」](#)
- [8 ページの「問題と回避方法」](#)

このリリースの新機能

Sun Management Center 4.0 Version 7 Update 4 アドオンソフトウェアは、Oracle Netra SPARC T4-1 サーバーをサポートします。

関連ドキュメント

Sun Management Center 4.0 Version 7 アドオンソフトウェアで提供されている機能の使用方法については、『Sun Management Center 3.6 Supplement for the Sun Fire, Sun Blade, and Netra Systems』(819-1153)を参照してください。このドキュメントは、Sun Management Center 4.0 でこのソフトウェアを使用しているシステムに適用されます。

これらのリリースノートには、『Sun Management Center 4.0 Installation and Configuration Guide』(820-2215)を補足する情報が含まれます。また、Sun Management Center 4.0 に関するドキュメントの詳細については、このドキュメントの「はじめに」を参照してください。

Sun Management Center 4.0 のドキュメントとアドオンソフトウェアのリリースノートについては、次の場所を参照してください。

http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=Sun_MC4.0

サポートされるソフトウェア環境

次の表は、Sun Management Center 4.0 Version 7 アドオンソフトウェアに必要なソフトウェアのバージョンの一覧です。

注 – Sun Management Center のサーバーシステムとエージェントシステムは、同じバージョンのアドオンソフトウェアを使用する必要があります。Sun Management Center は、Solaris 11 上では動作しません。

表 1 ソフトウェアの必要最小バージョン

| ホスト | 必要なソフトウェア | バージョン |
|------|---|---|
| サーバー | Oracle Solaris オペレーティングシステム *† | 8、9、10 x86 をサポートする場合は、サーバーとコンソールに Solaris 10 の Oracle Solaris 10 11/06 以降が必要です |
| | Sun Management Center サーバーベースソフトウェア | 4.0 リリース |
| | Sun Management Center ELP Config-Reader Monitoring アドオン製品ソフトウェア | 4.0 Version 7 以降 |

表 1 ソフトウェアの必要最小バージョン (続き)

| ホスト | 必要なソフトウェア | バージョン |
|--------------------------------------|---|--|
| 監視対象プラットフォーム | Oracle Solaris オペレーティングシステム [†] | 8、9、10 |
| | Sun Management Center ベースソフトウェア | 4.0 リリース |
| | Sun Management Center ELP Config-Reader Monitoring アドオン製品ソフトウェア | 4.0 Version 7 以降 |
| ワークステーションまたは共通のネットワークの場所 (コンソールレイヤー) | SPARC 版 Oracle Solaris オペレーティングシステム [*] | 8、9、10 |
| | x86 版 Oracle Solaris オペレーティングシステム [*] | サーバー: サポートされる Solaris 10 の Oracle Solaris 10 11/06 OS 以降 コンソール: Oracle Solaris 9、および Solaris 10 の Oracle Solaris 10 11/06 OS 以降 |
| | Sun Management Center コンソールベースソフトウェア | 4.0 リリース |

* システムにインストールされている Oracle Solaris オペレーティングシステムの配布は、「エンドユーザーシステムサポート」以上である必要があります。

† Oracle Solaris オペレーティングシステムのバージョンは、サポートされるプラットフォームに依存します。詳細については、使用しているプラットフォームでサポートされる Oracle Solaris のバージョンのプラットフォームドキュメントを参照してください。

サポートされるシステム

Sun Management Center 4.0 Version 7 アドオンソフトウェアでは、次のプラットフォームがサポートされます。

Netra プラットフォーム:

- Netra 210 サーバー
- Netra 240 サーバー
- Netra 440 サーバー
- Netra SPARC T3-1 サーバー
- Netra SPARC T4-1 サーバー
- Sun Netra T2000 サーバー
- Sun Netra T5220 サーバー
- Sun Netra T5440 サーバー

Sun Blade プラットフォーム:

- Sun Blade 1500 ワークステーション
- Sun Blade 2500 ワークステーション
- Sun Blade T6300 サーバー
- Sun Blade T6320 サーバー
- Sun Blade T6340 サーバー

Sun Ultra プラットフォーム:

- Sun Ultra 25 ワークステーション
- Sun Ultra 45 ワークステーション

Sun Fire プラットフォーム:

- Sun Fire V125 サーバー
- Sun Fire V210 サーバー
- Sun Fire V215 サーバー
- Sun Fire V240 サーバー
- Sun Fire V245 サーバー
- Sun Fire V250 サーバー
- Sun Fire V440 サーバー
- Sun Fire V445 サーバー
- Sun Fire T1000 サーバー (シングルドライブとデュアルドライブの両方のバージョン)
- Sun Fire T2000 サーバー

Sun SPARC Enterprise プラットフォーム:

- Sun SPARC Enterprise T1000 サーバー
- Sun SPARC Enterprise T2000 サーバー
- Sun SPARC Enterprise T5120 サーバー
- Sun SPARC Enterprise T5140 サーバ
- Sun SPARC Enterprise T5220 サーバー
- Sun SPARC Enterprise T5240 サーバ
- Sun SPARC Enterprise T5440 サーバ

SPARC T3 プラットフォーム:

- SPARC T3-1 サーバー
- SPARC T3-1B サーバー
- SPARC T3-2 サーバー
- SPARC T3-4 サーバー

推奨パッチ

Sun Management Center 4.0 コアアプリケーションおよびアドオンソフトウェアに対して、Oracle Solaris ソフトウェアのパッチや Sun Management Center のパッチが提供されています。Sun Management Center 4.0 ソフトウェアとこのアドオンをインストールする前に、オペレーティングシステムで必要なパッチをすべてインストールしてください。

これらのパッチの最新バージョンをダウンロードする場合、また必要なパッチの最新リストを確認する場合は、My Oracle Support の Web サイトを参照してください。

<https://support.oracle.com/>

これらのシステムまたはソフトウェアに必要なパッチおよび更新の最新情報については、該当するハードウェアおよびソフトウェアのマニュアルを参照してください。

Sun Management Center の最新の更新に必要なパッチの詳細については、『Sun Management Center 4.0 Software Release Notes』(820-2216) を参照してください。

アドオンソフトウェアの入手

Sun Management Center アドオンソフトウェアのパッケージは、次のソフトウェアダウンロードサイトで ZIP ファイルとして提供されています。

<https://support.oracle.com/>

ソフトウェアの更新をダウンロードするには、次の手順に従います。

1. 言語を選択し、「Sign In (サインイン)」ボタンをクリックします。
2. ユーザー名とパスワードを入力し、「Go (実行)」ボタンをクリックします (または、Enter キーを押します)。
3. 「Patches & Updates (パッチと更新)」タブをクリックします。
4. 「Patch Search (パッチ検索)」メニューで、「Product or Family (Advanced Search) (製品またはファミリー (拡張検索))」をクリックします。
「Product (製品)」、「Release (リリース)」、および「Platform (プラットフォーム)」の各オプションとその他のメニューが表示されます。
5. 「Products (製品)」フィールドに、「Sun Management Center」と入力します。
ドロップダウンメニューに、Sun Management Center 製品が表示されます。

6. 「Release (リリース)」メニューで、Sun Management Center フォルダの横にある矢印をクリックします。
 - a. リリースフィールドで、ボックスをクリックして「Sun Management Center 4.0」を選択します。
 - b. 「Close (閉じる)」ボタンをクリックします。
7. プラットフォームについては、左側のメニューを「Platform (プラットフォーム)」に設定されたままにします。
 - a. 右側のメニューで、「Oracle Solaris on SPARC 64-bit (Oracle Solaris on SPARC 64 ビット)」をクリックして選択します。
 - b. 「Close (閉じる)」をクリックします。
8. 黄色の「Search (検索)」メニューを選択します。
9. ボックスをクリックして「Sun Management Center 4.0 Version 7 Add-On Software - Solaris 8/9/10 SPARC (Sun Management Center 4.0 Version 7 アドオンソフトウェア - Solaris 8/9/10 SPARC)」を選択します。

注 - 同じアドオンソフトウェアのバージョンが2つ表示された場合は、どちらのパッケージを選択してもかまいません。これらのパッケージは同一のものです。

注 - これらのソフトウェアパッケージには「パッチ ID」が割り当てられていますが、パッチではありません。Sun Management Center アドオンソフトウェアの zip ファイルです。

10. 黄色の「Download (ダウンロード)」ボタンをクリックします。

インストール

Sun Management Center 4.0 Version 7 アドオンソフトウェアをインストールする前に、Sun Management Center 4.0 のコアソフトウェアをインストールする必要があります。Sun Management Center 4.0 Version 7 アドオンソフトウェアは、Sun Management Center コアの 4.0 以降にのみインストールする必要があります。

この Sun Management Center 4.0 Version 7 アドオンソフトウェアは、専用の ZIP ファイルを使用してインストールします。



注意 – Sun Management Center ソフトウェアで提供されているインストールおよびセットアップスクリプトを使用してください。手作業でパッケージを追加したり、構成ファイルを変更したりしないでください。

▼ 以前のバージョンのアドオンソフトウェアをアンインストールする

- 以前のバージョンをアンインストールします。

『Sun Management Center 4.0 Installation and Configuration Guide』(820-2215) を参照してください。

このマニュアルの付録に、`es-guiuninst` ウィザードまたは `es-uninst` コマンド行スクリプトを使用してアドオン製品をアンインストールする手順の説明があります。ELP Config-Reader Monitor アドオンソフトウェアのみをアンインストールします。

▼ Sun Management Center 4.0 ソフトウェアをインストールする

1. インストールの準備をします。

インストールの準備については、『Sun Management Center 3.6 Supplement for the Sun Fire, Sun Blade, and Netra Systems』(819-1153) を参照してください。

2. Sun Management Center コアソフトウェアをインストールします。

『Sun Management Center Installation and Configuration Guide』(820-2215) を参照してください。

Sun Management Center ソフトウェアの以前のリリースを更新している場合は、現在インストールされているリリースからのソフトウェアの更新に関する情報を読んでください。

注 – インストールの間に、ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、アドオン製品をリストから選択できます。ELP Config-Reader アドオン製品 (Common Config Reader と呼ばれます) は選択しないでください。ELP Config-Reader は、[7 ページの「Sun Management Center 4.0 ソフトウェアをインストールする」](#)でインストールします。

3. アドオンソフトウェアをインストールします。

[8 ページの「Sun Management Center 4.0 Version 7 アドオンソフトウェアをインストールする」](#) を参照してください。

▼ Sun Management Center 4.0 Version 7 アドオンソフトウェアをインストールする

1. ソフトウェアをダウンロードします。
ソフトウェアの入手方法については、[5 ページの「アドオンソフトウェアの入手」](#)を参照してください。
2. ZIP ファイルをディレクトリに解凍します。
この手順では、このディレクトリのパスを *downloadpath* という名前で示します。
3. ホストシステムにスーパーユーザーとしてログインします。
4. Sun Management Center 4.0 コアソフトウェアがインストールされているパスにディレクトリを変更します。
ディレクトリは次のようになります。
`installed_directory/SUNWsymon/sbin`
5. `es-guiinst` または `es-inst` インストールスクリプトを実行します。
次のような名前のパスに対するポインタの入力を求められます。
`downloadpath/disk1/image/`
`downloadpath` は、[手順 2](#) で説明したディレクトリパスです。インストールできるアドオン製品のリストが表示されます。
6. ELP Config-Reader Monitoring アドオン製品を選択します。
7. インストールスクリプトに含まれる残りの手順を完了します。
8. 手順に従ってソフトウェアを設定します。
インストールウィザードでソフトウェアの設定を求められます。詳細については、『Sun Management Center Installation and Configuration Guide』(820-2215)を参照してください。

問題と回避方法

ここでは、ユーザーが気付く可能性のある、または Sun Management Center 4.0 Version 7 アドオンソフトウェアの動作に影響する可能性のある、このリリースの時点で確認されているソフトウェアの問題と回避方法について説明します。これらの問題は、使用しているバージョンのコアソフトウェアの『Sun Management Center リリースノート』で指摘されている問題に加えて確認されたものです。

Netra SPARC T3-1 サーバーについて、「Physical Components Fan (物理コンポーネント/ファン)」の表に何も表示されない (CR 7019466)

Netra SPARC T3-1 サーバーでは、Sun Management Center はファンや回転速度計の情報は報告しません。

回避方法: この問題は、システムファームウェアバージョン 8.0.5 以降で解決されています。ファームウェアの更新版をインストールしてください。

エラーメッセージ: Unable to Launch the Application due to Unavailable Sunconnection.sun.com URL (Sunconnection.sun.com URL にアクセスできないためアプリケーションを起動できません) (CR 7029129)

「Unable to launch the application (アプリケーションを起動できません)」と「Error: could not load the file/URL specified (エラー: 指定されたファイル/URL を読み込めませんでした)」という 2 つのメッセージが表示されます。

回避方法: ありません。このメッセージは無視してかまいません。これは Sun Management Center のパフォーマンスには影響しません。

Netra SPARC T3-1 および Netra SPARC T4-1 サーバーの「インジケータ」の表で HDD のホットプラグイベントの正しい状態が報告されない (CR 7020337)

Netra SPARC T3-1 および Netra SPARC T4-1 サーバーに任意のハードディスクドライブをホットプラグで挿入したときに、ホットプラグで挿入された HDD の状態が正しく報告されないことがあります。サーバーからディスクを取り外しても、「インジケータ」の表のディスク LED のステータスが青いアラームのままになります。

回避方法: ありません。

電源のファンに障害が発生した後に、Netra SPARC T3-1 および Netra SPARC T4-1 サーバーの電圧/電流センサーの運用ステータスが正しく報告されない (CR 7020508)

Netra SPARC T3-1 および Netra SPARC T4-1 サーバーで電源 (PS) のファンに障害が発生すると、Sun Management Center の「Voltage/Current Sensor (電圧/電流センサー)」の表の「運用ステータス」に「存在していない」と表示されます。

回避方法: ありません。「Voltage/Current sensor (電圧/電流センサー)」の表に「存在していない」と表示されても、この報告は無視してかまいません。

Netra SPARC T3-1 および Netra SPARC T4-1 サーバーで電源が取り外されたときに、追加情報フィールドに誤った致命的なしきい値が報告される (CR 7029653)

電源 (PS) が Netra SPARC T3-1 および Netra SPARC T4-1 サーバーから取り外されたときに、「電圧センサー」の表に「Lower fatal Threshold exceeded」と報告されます。

回避方法: ありません。このメッセージは無視してかまいません。

「詳細」ウィンドウの「アラーム」タブがエージェントと同期しない (CR 6548517)

ある項目 (プロセッサの状態、ディスクのエラー数、特定のセンサーの値など) に対してアラームがすでに発生しているときに、同じ項目で新しいアラームが発生すると、この問題が発生します。状態の値が変化するまで、「アラーム」タブの新しいアラームは更新されません。

回避方法: ありません。

コンソールに表示される説明情報が正しくない (CR 6585734)

説明情報を指定しないで新しいオブジェクトを作成すると、Sun Management Center Console の「情報」タブの「説明」フィールドは空白にならずに、別の既存オブジェクトの説明情報が表示されます。

回避方法: 新しいオブジェクトを作成するときは、「説明」フィールドに情報を入力してください。

XAUI カードが該当するすべての表に表示されない (CR 6604020、6971521)

XAUI カードインタフェースは「ネットワークインタフェース」の表には表示されますが、「拡張カード」または「他のコンポーネント」の表には表示されません。また、「場所」の表では、PCI-E スロットに XAUI カードが装着されていると、スロットが「空白」と表示されます。

回避方法: ありません。

特定のシステムではコンソールに SAN (MPXIO) ディスクが表示されない (CR 6655853)

Sun Fire V440 サーバーなどの特定のシステムでは、Sun Management Center は SAN ディスクの情報を表示できません。

回避方法: ありません。

「プロセッサ」の表が Web コンソールに表示されない (CR 6662409)

Web コンソール (ブラウザベースの https://server_system:6789) を使用してエージェントシステムを表示している場合、「ハードウェア」->「構成リーダー」->「デバイス情報」ノードを展開してそれに含まれる表(「プロセッサ」、「メディアデバイス」、「ネットワークインタフェース」、「インジケータ」、「他のデバイス」)を表示できません。「デバイス情報」ノードの横に三角形のアイコンが表示されないため、展開できません。

回避方法: Web コンソールの代わりに Java GUI コンソールを使用してください。

「システム」および「メディアデバイス」の表に表示される HDD の数が正しくない (CR 6665401)

2 個の HDD が構成された Sun Netra T2000 サーバーが、システムの表およびメディアデバイスの表では 4 個の HDD と表示されます。存在しない 2 個の HDD は、未構成状態として表示されます。

回避方法: 2 個の HDD が構成された Sun Netra T2000 サーバーでは、HDD2 および HDD3 は存在しないものと考えてください。

論理ドメインが設定されていると、Sun Management Center ですべてのディスクが「構成していない」と表示される (CR 6666611)

論理ドメインが設定されていると、Sun Management Center の「メディアデバイス」の表で、すべてのディスクの利用可能性の状態が「構成していない」と表示されます。ディスクの物理パスと種類も表に表示されません。論理ドメインが設定されていないと、正しい状態（「実行」/「全電力」）が表示されます。この問題は Sun SPARC Enterprise T2000 サーバーで発生します。

回避方法: 論理ドメイン環境でディスクの状態を確認するには、`cfgadm -al` コマンドを使用してください。

論理ドメインシステムでは Sun Management Center が Spare/No-intr プロセッサを誤って更新する (CR 6730867)

CPU を `no-intr` または `spare` にすると (`psradm -n` および `psradm -s` で)、論理ドメインコントローラソフトウェアによって返される状態が正しくありません。CPU が `no-intr` のときは、返される状態はオンラインです。CPU が `spare` のときは、返される状態はオフラインです。

回避方法: 論理ドメインシステムでプロセッサの正しい状態を確認するには、`psrinfo` コマンドを使用してください。

ILOM では、PS 入力電圧を送信する前に正しく変換する必要がある (CR 6735038)

「電圧センサー」の表では、SPARC T3 シリーズサーバーの電源の入力電圧に正しくない値が表示されます。

回避方法: 次の ILOM コマンドで入力電圧を調べてください。

```
-> show /SYS/PSx/V_IN value
```

環境センサーの障害がしきい値で正しく報告されない (CR 6738914)

温度または電圧がしきい値の場合、LowWarn (非重度) の値に対して障害が報告されません。LowSoft (重度) の値には、「Lower non-critical threshold exceeded」というメッセージが表示されます。

回避方法: ありません。

第一ドメインを構成すると、「プロセッサ」の表が変化する (CR 6751418)

論理ドメインが設定されているシステムでは、第一ドメインを構成している間に、Sun Management Center が「プロセッサ」の表を動的に更新します。第一ドメインに割り当てられていないプロセッサは、構成モード自体で強制的に「Unknown」状態に設定されます。Sun Management Center は動的に変更を行い、論理ドメインのソフトウェアは後の電源サイクルのときにだけ変更を行うので、2つの論理ドメインが同期しない状態のままになります。

回避方法: 構成モードでのプロセッサの正しい状態は、psrinfo コマンドを使用して確認してください。

NIC をホットプラグで挿入すると、「ネットワークインタフェース」の表が正しく更新されない (CR 6756972)

ネットワークインタフェースカード (NIC) のモジュラーシステムへの挿入またはモジュラーシステムからの取り外しをホットプラグで行うと、「ネットワークインタフェース」の表が更新されません。

回避方法: NIC のホットプラグ操作を行った後で「ネットワークインタフェース」の表を正しく表示するには、Sun Management Center エージェントを再起動してください。

すべての T3 シリーズサーバーおよび Netra SPARC T4-1 サーバーで「メディアデバイス」の表の情報が完全ではない (CR 6963594)

SPARC T3 シリーズサーバーおよび Netra SPARC T4-1 サーバーの場合、「メディアデバイス」の表の「可用性」(「構成済み」/「構成していない」)または「物理パス」に正しい情報が表示されません。この表の「運用ステータス」には正しい情報が表示されます。「運用ステータス」は、デバイスが「存在」または「存在していない」の場合は正しく表示され、デバイスが挿入されていない場合は青いアラームが表示されます。

回避方法: ありません。

ILOM で送信される FRU のシリアル番号が切り詰められる (CR 6967351)

ILOM が PCPDAQ で Sun Management Center にデータを送信するとき、FRU のシリアル番号が 9 文字に切り詰められます。そのため、「他のコンポーネント」の表には、各コンポーネントのシリアル番号の最初の 9 文字だけが表示されます (サーバーモジュールのミッドプレーンは例外です)。

回避方法: コンポーネントの完全なシリアル番号を取得するには、次の ILOM CLI コマンドを使用してください。

次の例では、FRU のシリアルを調べる方法を示します。

```
-> show component-NAC-name fru_serial_number
```

たとえば、マザーボードのシリアル番号を調べるには、次のように入力します。

```
-> show /SYS/MB_ENV

/SYS/MB_ENV
  Targets:

  Properties:
    type = PROM
    fru_name = ES-SEG
    fru_description = Madrid ES Segment
    fru_manufacturer = 5030 CELESTICA CORP. SRIACHA CHONBURI TH
    fru_version = 01
    fru_part_number = 999-9999
    fru_serial_number = 0810SCA-1033SCA001
```

DIMM に対して正しくないシリアル番号が返される (CR 6981291)

DIMM のシリアル番号が「Memory Modules」の表で報告される時、ベンダーの文字列がシリアル番号に含まれる場合があります。

回避方法: DIMM の正しいシリアル番号を取得するには、次の ILOM CLI コマンドを使用してください。

```
-> show DIMM-NAC-name fru_serial_number
```

